

## 第230回液体クロマトグラフィー研究懇談会

日 時 2010年5月28日 (金) 13:00~17:10

会 場 オルガノ株式会社 (<http://www.organo.co.jp/company/pdf/honsya.pdf>)

〒136-8631東京都江東区新砂 1-2-8, 電話 03-5635-5100

アクセス：東京メトロ東西線『東陽町駅』下車 (3番出口) 徒歩 約7分

**開催趣旨** LC/MS/MSの最大の特長として微量分析が可能であるということがあげられます。最近では、さらなる微量分析へのニーズに応えるため、装置の高感度化はもとより、クロマトグラフィー条件の最適化とLC/MSグレードの試薬・水の選択で、低濃度検出を実現することができます。さらなる微量分析へ対応のために、分析時に使用する試薬・カラム等の紹介と共に、選択時・使用時の注意点などにも触れ、よりよいLC/MS (/MS) 分析をおこなうためのヒントや提案の場を設けられたらと考えております。

**講演主題** LC/MS/MSにおけるよりよい微量分析に役立つアドバイス

### 講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05)

(株)エービー・サイエックス 吉岡浩実

1. LC/MS/MSによる微量分析への応用 (13:00~13:30)

(株)エービー・サイエックス 小梶哲雄

2. LC/MS に最適な塩・緩衝液の選択 (13:30~13:55)

(シグマ アルドリッチ ジャパン(株)) 海老原卓也

3. LC分析における専用溶媒の必要性について (13:55~14:20)

(和光純薬工業(株)) 大久保克哉

4. 我が社での LC/MS 高感度化への取り組み

~HILIC カラム等を用いたイオン性化合物の分析~ (14:20~14:50)

(富士フイルムファインケミカルズ(株)) 清水幸樹

休憩 (14:50~15:00)

5. オンライン・リアルタイムでの夾雑物除去によるLC/MS高感度化へのアプローチ

(15:00~15:25) (日本電子(株)) 高橋 豊

6. Ultra-High-Performance Nano LC-MS/MSによる高感度、高分離分析

(15:50~16:15) (日本ダイオネクス(株)) 住吉孝一

7. LC/MS/MS を用いた有機フッ素化合物の低濃度検出に対する工夫

(15:25~15:50) (アジレント・テクノロジー(株)) 清水尚登

8. 微量有機物分析用超純水中のPFOA、PFOSの検出 (16:15~16:40)

(オルガノ(株)) 高橋あかね

9. 総括：LC/MS/MSと微量分析 (16:40~17:10)

(東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費 LC研究懇談会会員：1,000円, 協賛学会会員 (日本分析化学会含む)：3,000円,

その他：4,000円, 学生：500円 (参加費は当日申し受けます)

カタログ展示 1小間5,000円 (場所・スペースは運営委員に一任させていただきます。)

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで交流会を開催します (会費3,000円)。

希望者は必ず前もってお申し込みください (参加費は当日申し受けます)。

申込方法 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上FAXまたは同内容をEメールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください (定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031東京都品川区西五反田1-26-2五反田サンハイツ304号

社団法人日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話：03-3490-3351, FAX：03-3490-3572, E-mail：hm\_tanaka@jsac.or.jp]